

新型コロナウイルス感染拡大予防対策について

KAILでは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、プログラム受講時をはじめ様々な場面で、徹底して予防に取り組んでいます。

派遣元企業・団体の皆さまや塾生の皆さまに引き続き安心して派遣、受講いただけるよう、感染拡大予防対策についてご紹介します。

【受講時の感染拡大予防対策】

◆ オンラインによる受講（集合形式との受講選択、緊急事態宣言時はオンライン）

KAILでは、オンライン講義ツール（2020.3 導入）にて、第16期碧樹館プログラム卒業式（2020.4）、第17期碧樹館プログラム開講式（2020.6）を開催しました。

塾生ならびに派遣元企業・団体様のご理解のもと集合形式を再開（2020.7）しましたが、特に隔週で2日と集まる機会が多い碧樹館プログラムでは、派遣元企業・団体の意向や塾生の体調不良などに柔軟に対応できるよう、集合/オンラインを選択して受講いただけるようにしています。

（緊急事態宣言時オンライン開催の様子）



◆ 集合セッション時の取り組み

集合形式でのセッションに参加する際、セッション会場にウイルスを持ち込まないように、感染（濃厚接触含）者、37.5度以上の発熱がある方、体調不良の方の入室をお断りするとともに、入室時の検温と手指消毒を徹底しています。（検温サーモカメラ、消毒液自動噴霧器を2020.12導入）これに加え、碧樹館プログラム塾生とスタッフに対しては、集合セッション出席にあたり、過去2週間の体調、受講前日及び当日の検温結果と体調の確認を行っています。

セッション会場内での感染予防として、塾生とスタッフはマスクを常時着用、講師はマスクやフェイスシールドを着用するとともに、会場の出入口を開放して換気を常時行っています。座席は隔離を確保し、机上に透明なパーテーションを設置して飛沫拡散を防いでいます。（更なる安全確保のため一人用机を2021.1導入）

マイクなど使用した機器や用具は、セッション終了後にスタッフが消毒を行うとともに、消毒シートを各机に設置し受講中でも消毒できるようにしています。

塾生や講師の皆さまのご理解とご協力により、これまで感染は発生しておりません。



【業務運営上の感染拡大予防対策】

事務局では、会議や打合せにオンライン会議ツールを利用（2020.3～）するとともに、テレワークや時差出勤（2020.4～）を行っています。ビジネスチャットツール（2020.5～）にて、スタッフ間の報告、連絡、対話や情報共有を、オンラインを介してリアルタイムで行っています。

こうしてスタッフが業務で直接人と接する機会を抑制するとともに、事務所入室時の検温・手指消毒、マスク着用、事務室内換気及び座席離隔確保、スタッフ以外への入室制限などを日頃から行うことにより、セッション以外の一般業務においても感染拡大予防に努めています。

【感染予防を実効あるものとするための取り組み】

◆ 関係者との連携

KAILの感染拡大予防の取り組みは、関係する皆さまのご理解とご協力によって支えられています。

（塾生の協力）

自身の感染を疑う塾生が、他の塾生に情報を積極的に開示するとともに進んでオンラインで受講するなど、受講時の感染予防に万全を期していただいています。

（派遣元や講師の協力）

派遣元企業や講師から、感染拡大予防に関する有効な取り組みを紹介いただきました。

- ・机上パーテーションの作成（2020.8導入）
- ・メールによる塾生の受講前検温と体調把握の徹底（2020.11導入） など

◆ 感染の発生、拡大に備えて

緊急事態宣言発出時には、全てのプログラムをオンラインでのリアルタイム対話に切り替えて実施致します。

また感染の発生に備え、KAIL事務所に入室した方が感染者・濃厚接触者であることを確認した場合は、保健所の指示に従い消毒を行うとともに、その方の最終入室日から14日目まで事務所を閉鎖（立入禁止）することとしています。

* * *

コロナ禍以前の世界に戻ることはありません。過去の成功体験や考え方に捉われず、現実をありのままに受け止め、殻を破っていかねばなりません。

おかげをもちまして、これまで感染は発生していませんが、KAILは今後もこうした志ある人々を輩出し“人財の森”づくりに努めるため、引き続き感染拡大予防に徹底して取り組んでまいります。

今後とも、新型コロナウイルス感染拡大の予防につきまして皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

KAILの新型コロナウイルス感染拡大予防対策

KAILでは皆さまに安心して受講いただけるよう、感染拡大予防に徹底して取り組んでいます

受講時の感染予防に努めています（感染・濃厚接触者、37.5度以上の発熱者は入室お断り）

オンライン 選択受講

集合研修と選択自由
派遣元企業の指示や
体調不良時にも対応

塾生/スタッフの 体調管理の徹底

過去2週間の体調、
前日と当日の
検温結果と体調を
メールで確認

塾生/スタッフの 常時マスク着用

講師もマスクや
フェイスシールドを着用

検温サーモカメラ の設置

発熱時警告とともに
マスク未着用時も警告

各所への消毒液・ 消毒シートの設置

出入口での手指消毒
や機器使用後の消毒

座席の離隔確保

講師との対話時の
隣席との離隔確保
一人用機の導入

机上パーティション の設置

グループ対話時の
飛沫拡散を防止

受講会場の 常時換気

出入口を常に開放

業務運営上の感染予防に努めています（上記掲載以外）

スタッフの 出勤頻度低減

テレワーク勤務や
時差出勤を実施

会議や打合せの オンライン開催

講師など関係者との
調整にもオンライン
会議ツールを利用

オンラインを介した 対話と情報の共有

スタッフ間の報告・連
絡・相談や情報共有に
Slackを利用

スタッフ以外の 事務所入室制限

アルムナイ活動には
オンライン会議ツール
を提供しサポート

万が一の事態に備えています

緊急事態宣言 発出時の対応

- 全てのセッション、プログラムをオンライン開催に切り替え
- 出勤スタッフを最低限に抑制
- スタッフの出張や業務上の外出を停止

感染（濃厚接 触）者が発生 した時の対応

（これまで未発生）

- KAIL入室者に感染（濃厚接触）者を確認した時は、その人物が最後に入室した日から14日目まで事務所を閉鎖（立入禁止）
- 閉鎖期間中のプログラムは、全てオンラインで開催
- 閉鎖期間中、スタッフはテレワークで勤務
- 感染（濃厚接触）者は、保健所の指導に従い療養、自宅待機

【参考】国内感染確認後の世の中の動きとKAILの感染拡大予防の主な取り組み

年月日		世の中の動き	KAILの感染拡大予防の主な取り組み
2020年 2月以前	1/15	国内初の感染者確認	
	2/29	首相会見(休校要請等)	
3月	3/初		<ul style="list-style-type: none"> オンライン講義ツール(Zoom)の導入決定 スタッフの検温・手指消毒、マスク着用を開始
	3/7		<ul style="list-style-type: none"> 碧樹館プログラムの講義をオンラインで実施 (以後、全ての講義をオンラインで実施)
	下旬	政府、知事が3密回避発信	<ul style="list-style-type: none"> 座席離隔確保、出入口開放による換気開始
4月	4/1		<ul style="list-style-type: none"> 碧樹館プログラムの全イベントをオンライン開催とすること、6月開講の第17期碧樹館プログラムは感染収束次第集合形式に移行することを決定
	4/7	緊急事態宣言発出 (福岡含む7都府県)	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの出勤体制をローテーションに移行(テレワークと併用)、時差出勤開始
	4/16	宣言拡大(全国)	
	4/25		<ul style="list-style-type: none"> 第16期碧樹館プログラム卒業式をオンラインで開催
5月	5/14	宣言解除(福岡県他)	<ul style="list-style-type: none"> 通常出勤体制とする(テレワーク活用奨励)
	中旬		<ul style="list-style-type: none"> ビジネスチャットツール(Slack)を導入、事務局業務での利用開始(碧樹館、ヤングエグゼクティブ・プログラム受講者相互の対話やグループワークでも利用)
	5/25	宣言解除(全地域)	
6月	6/13		<ul style="list-style-type: none"> 第17期碧樹館プログラム開講式、講義をオンラインで開催
	中旬		<ul style="list-style-type: none"> 7月から集合形式(オンライン併用)に移行することを決定、調整を開始
7月	7/4		<ul style="list-style-type: none"> 碧樹館プログラムで集合形式再開(オンライン受講併用)
8月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> 飛沫拡散防止のための机上パーテーション作成、設置
	下旬	感染第2波全国ピーク	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ以外の事務所入室の制限を強化
9月	中旬		<ul style="list-style-type: none"> 海外渡航の代替プログラム検討開始
10月	10/13		<ul style="list-style-type: none"> ヤングエグゼクティブ・プログラム開講(集合形式)
11月	中旬	首都圏を中心に、感染拡大 (第3波)の懸念が高まる	<ul style="list-style-type: none"> 碧樹館プログラム塾生及びスタッフに対して、集合セッション受講前2週間の体調、受講前日及び当日の検温結果と体調の確認を開始
12月	上旬		<ul style="list-style-type: none"> 更なる感染予防対策として、一人用机、検温サーモカメラ、消毒液自動噴霧器導入を決定(机は1月納入)
2021年 1月	1/7	緊急事態宣言発出 (首都圏1都3県)	
	1/9		<ul style="list-style-type: none"> 碧樹館プログラムの講義をオンラインで開催
	1/13	宣言拡大 (福岡含む7府県を追加)	<ul style="list-style-type: none"> 碧樹館プログラム、ヤングエグゼクティブ・プログラムのオンライン開催を決定、周知
2月	2/2	宣言延長決定(～3/7)	<ul style="list-style-type: none"> 全プログラムのオンライン開催延長を決定、周知